

# かみさと



学校教育目標

豊かな心もち  
他のために行動できる子  
やさしく かしく  
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ

㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 藤田 敦

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

TEL048-794-2316

令和7年1月7日(火) 1月号

## 想う、想わなければ叶わない

校長 藤田 敦

新年明けましておめでとうございます。児童、保護者のみなさま、地域のみなさまにとって今年がさらによい年でありますよう心より願っております。

新たなスタートを切るタイミングにおいて、今年一年で何ができるようになりたいのかと考えたり、一年に限らず、将来的な希望や夢を抱いたりするよい機会であると思います。

私が高校生の頃、ある友人が「大学に行ったら箱根駅伝大会で走りたい」と語っていました。彼は、長距離が得意で、決して陸上強豪校ではない高校でありながらも、自主トレーニングを欠かしていませんでした。私からすると、箱根駅伝大会はお正月にコタツに入りながら観るもの、お正月の風物詩というイメージしかなかったのですが、彼は自分が箱根路を走っている姿を本気で想像していたのでしょうか。

私は大学生となり、福島の実家を出て、浦和市で一人暮らしをしていました。その友人は、一般入試でえんじ色のユニフォームで有名な駅伝強豪校に入学していました。正月は実家で過ごそうと帰省し、年を越し、テレビをつけると、なんとその友人が箱根路を走っている姿がテレビに映し出されていました。駅伝部に入部したとは聞いていましたが、本当に箱根路をトップで、しかも往路の難関5区(山のぼり区間)とは思っていませんでした。彼は、4年連続で箱根路を走り抜けました。連覇も達成し、その大学の駅伝部の一時代を築き上げていました。想えば叶う、想わなければ叶わないと彼から学ばせてもらいました。

教員一年目、初めて受けもった学級にサッカーが大好きな児童がいました。もちろん地域のサッカー少年団に所属し、平日も休日も練習に励んでいました。休日に、試合を観に行くと、負けて大泣きするその子の姿を何度も目にしました。本気で悔しく、本気でうまくなりたいのだろうという思いが全身から伝わってきました。時がたち、それから7年後の10月下旬。私は、とある研究会参加のため仙台の大学にいました。突然電話が鳴り、電話に出ると、相手はその子のお母様でした。「先生、今日高校サッカー埼玉県大会の準決勝です。ぜひ、スタジアムにきてください。」とのことでしたが、遠い地にいましたので、「ぜひ、決勝へ行くよう息子さんに伝えて下さい。必ず観に行きます。」と返答しました。

見事、決勝に進み、埼玉スタジアムへと行くことができました。ワールドカップ会場でもある広く美しいグラウンドで立派な選手となって活躍しているその子の姿は大きく見えていたのですが、感動で涙があふれてきて涙をぬぐいながら、やっとの思いで試合を見守りました。接戦をものにし、優勝を果たし、全国出場を叶えていました。その子は、今、立派な教員として活躍しています。

やはり、想えば叶う、想わなければ叶わないことをこれらのエピソードで紹介した人物を含め、たくさんの方々の姿から教わってきました。

新年を迎え、改めて上里小学校において子どもたちが学びを精一杯楽しみ、一人ひとりが大きく成長する姿を想っています。思いが叶うための努力と教育活動の充実で教職員一丸となって令和7年も取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

